

## 第3期洲本市教育大綱

### 【基本理念】

次代につながる「世界」を構築できる人材の育成

### 【めざす人間像】

- 1 生涯にわたって自己実現に向け、学び続けられる人
- 2 持続可能な社会の発展に貢献する人
- 3 主体性を持ち、自律的に行動する人
- 4 協調性と優れたコミュニケーション能力を持つ人
- 5 創造性と革新性を備えた人

### 【育み培う心、力、態度】

- 1 主体的に心身の健康を整え、家族や友人・ふるさとを愛する
- 2 知識と教養を身に付け、真理を求める
- 3 個性や能力を磨き続け、理想の実現に向かう
- 4 多様性を尊重し、コラボレーションを図りながら、イノベーションを生み出し、望ましい未来を築き上げる
- 5 伝統と文化を尊重し、共生の心で国際社会に貢献する

### 【基本方針】

#### 1 学校教育の充実

生きる力を支える「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」をバランス良く育成し、生涯にわたって学び続けられる基盤を形成するとともに、持続可能な社会の一員として、主体性を持って自律的に行動し、他者や外部と協調しつつ、創造力と革新性を発揮して、自ら望む未来を築き上げる力を身に付けることができる教育を推進します。

## 2 生涯学習の振興

人生100年時代を見据え、何歳になっても学び続けられる環境を整えるため、子どもから大人まで多様な市民が参加できる公民館講座の充実やその学習成果を地域に還元する仕組みづくりを推進します。

生涯学習の拠点施設である公民館や図書館などの学習環境を整え、市民に親しまれる学習の場の提供に努めます。

## 3 青少年の健全育成

青少年を健全に育成していくため、家庭・地域・学校・行政が一体となり、相互に連携を深めながら、活動の充実を図るとともに、PTAが集い、つながり、学ぶ活動を支援することにより、家庭の教育力の向上をめざします。

また、子育て学習センターの充実や放課後の居場所づくりなど、ふるさととなる地域の中で、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。

## 4 地域文化の振興

伝統文化の継承に向け、地域に根差した文化活動・文化団体への支援や歴史・文化を学ぶ体験講座の開催により、次代につないでいこうとする歴史意識を醸成し、ふるさとへの愛着心を育む機会を提供します。

また、貴重な地域資源である歴史文化遺産について、保存・継承するとともに、地域活性化に寄与するため、観光資源としても活用します。

さらに、身近で質の高い作品に触れられる機会を提供することで、市民生活に心の豊かさと潤いをもたらし、個性や能力を磨き続けた成果の到達点として、持続可能な社会の発展に不可欠である文化・芸術に対する市民意識の高揚を図ります。

## 5 生涯スポーツの振興

新たにスポーツを愛好する方を増やす取組や各種スポーツ団体の育成・支援により、気軽にスポーツに親しむことで、主体的に心身の健康を整えられる環境づくりを促進します。

また、淡路島の魅力を活かした特色あるスポーツ交流イベントや、ワールドマスターズゲームズ2027関西に参画することで、多様性を尊重し合い、コラボレーションを図りつつ、交流人口の拡大を推進します。

さらに、アスリートネットワークプロジェクトによるトップアスリートとの交流を通して子どもたちの体力の向上と社会に適應する人づくりに努めます。

## 6 持続可能な教育施設づくり

幼稚園や小・中学校をはじめとして、図書館、公民館、文化体育館、市民交流センター、野球場、陸上競技場、五色台運動公園（アスパ五色）、健康村グラウンド、中山間活性化センターなど、教育施設は、本市公共施設の中でも大きな割合を占めていることからわかるように、子どもたちや多数の市民が学び、遊び、集い、交わり、楽しみ、知識と教養を身に付け、心身の健康を整える場として、持続可能な社会にとって必要不可欠な施設となっています。

その中には、建設後 50 年程度が経過したものもあり、定期的な維持修繕だけでなく、大規模な改修や建替を検討する時期が到来しています。

今後は、利用者の拡大を図りつつ、既存施設を最大限に活用するとともに、人口減少、とりわけ児童・生徒数の減少に対応し、将来の姿について調査・研究を進めていく必要があります。